

折尾愛真中学校 令和4年度 学校重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ 実施段階)

学 校 運 営 計 画				評価(3月)
学校運営方針	キリスト教に基づく人格教育と専門教科による職業教育及び国際理解教育を行い、有能な人材を育成する。			
昨年度の成果と課題	本 年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標		
前年踏襲的な学校運営となり、新たな学校の教育方針や目標理解が全教職員へ徹底できなかった。全教育活動を通じてPDCAサイクルが不十分であった。生徒・保護者を含めて部活動中心から学習活動中心の意識改革が急務である。そのために学校改革と授業改善をはかり、基礎学力を向上させ成績上位層の拡大に努める。また教員研修を充実させて意識改革を推進する。更に広報活動内容や入試制度を見直し志願者数と入学者数の増加を目指す。	基本的生活習慣を確立し、「思考力・判断力・表現力」を定着させる。	家庭学習を定着させ、予習・授業・復習(課題)の「学習サイクル」を確立させる。 「外国語(英語)」を中心に数学、国語の基礎学力を充実させる。		
	自他尊重の精神を尊重し、規範意識を高め豊かな人間性を育む。	「時を守り、場を淨め、礼を正す」教育を実践する。 「凡事徹底」の意識を高め、ルールとマナーを遵守させる。		
	計画的、継続的、組織的な進路指導により希望進路の実現を図る。	「LHR」と「総合的な学習の時間」の年間を通じた計画的な指導を行う。 幅広い進路選択と実現が可能な「学力保障」に努める。		
	自他の安全を確保する指導を充実し、心身ともに健全な生徒を育てる。	「思いやりの心」を持つ教育を実践して、良好な人間関係の構築に努める。 他人の立場に立った言動ができるように全教育活動で人権教育を実践する。		
	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価 (3 月)	次年度の主な課題
学習指導	教科指導力の向上	・「年間指導計画」に基づくアグレッシブな授業を展開し、模試Fスコア50以上を目指す。 ・定期的な生活実態アンケートで授業改善に努め、生徒の「授業満足度」100%を目指す。		
	学習意欲の向上	・英単語、計算力、漢字の「コンクール」を実施し、学年横断的な学力の向上を図る。 ・生活実態アンケートにおいて「家庭学習時間 1時間未満」生徒を減少させ、学習習慣の改善を図る。		
生徒指導	規範意識の向上	・教職員の率先垂範で「5分前行動」「爽やかな挨拶」が当たり前に行えるように習慣化する。 ・「特別指導内規」に基づき、ルールやマナーの遵守を徹底する。		
	生徒会活動の活性化	・「生徒会」が中心になって様々な学校行事の運営できるように支援する。 ・各部活動において「新しい指導法」等を積極的に研究して更に上位の成績を目指す。		
進路指導	進路学習の充実	・「ポートフォリオ」を導入した計画的で組織的な進路指導を実践する。 ・個別指導を徹底し、英語検定、漢字検定、数学検定でそれぞれ「3級」以上の合格を目指す。		
	希望進路の実現	・「朝課外授業」の習熟度別学習を推進して、進路に応じた基礎学力と応用力の充実を図る。 ・面談等による親身な進路指導を展開して、第一志望進路を「推薦入試」で合格させる。		
その他	人権教育の充実	・あらためていじめ定義の周知を図り、「いじめ防止教室」(生徒対象と教職員対象)を実施する。 ・学年別の計画的な「人権・同和教育特設授業」を実施して、人権意識の高揚を図る。		
	広報活動の充実	・小学校や私塾との連携を強化し、「定員」以上の入学者数を目指す。 ・学校案内や学校説明会等の質的内容を高め、「学校説明会」の参加者100人以上を目指す。		